

# 平成 23 年度 学校経営計画

三原市立第二中学校  
校長 竹田 敏彦

## I 学校の状況

学級数	14	生徒数	418	教職員数	40
メールアドレス	info@dai2-jh.mihara.ed.jp				
ホームページアドレス	http://www.mihara.ed.jp/dai2-jh/index.htm				

## II 学校教育目標

知・徳・体のバランスのとれた人間力の向上
----------------------

## III 経営理念(ミッション・ビジョン・キャッチコピー)

<p>&lt;ミッション&gt; 「響き合う学校文化の創造—二中から日本全国へ—」</p> <p>&lt;ビジョン&gt; 「言葉の力と体験の力によって『確かな学力』を育む—校訓『響き合う二中っ子』の実現—」</p> <p>&lt;キャッチコピー&gt; 「響き合っていますか、私たち」</p>
---

## IV 中期経営目標及び短期経営目標

	中期経営目標	短期経営目標	評価項目
知育	<p><b>(確かな学力)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○知識・技能の「習得」、習得された知識・技能の「活用」「探究」の学力の向上</li> <li>○PISA型読解力—論理力(論理的読解力・論理的思考力・論理的判断力・論理的表現力)の育成</li> <li>○わかる授業の創造</li> <li>○言語活動の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎授業研究の推進—授業力の向上                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・言語技術の活用—各教科等</li> <li>・校内研修の充実</li> </ul> </li> <li>○指導目標・達成目標の明確化</li> <li>◎相互作用の充実—ペアトーク・グループトーク・クラストーク</li> <li>○総合的な学習の時間と各教科等との接続—総合単元的な道徳学習</li> <li>◎読書活動の充実</li> <li>◎家庭学習の習慣化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○校内全体研修会(授業研究—年間10回)の100%実施</li> <li>○生徒の授業満足度70%以上</li> <li>○全国学力調査・広島県基礎基本定着状況調査・標準学力調査結果の全国・広島県平均比各2ポイントアップ</li> <li>○各教科等での相互作用(ペアトーク・グループトーク・クラストーク—対話「聞く・答える・問い返す」)の生徒満足度60%以上</li> <li>○毎月1冊以上の読書の実行70%以上</li> <li>○課された宿題の提出率90%以上</li> <li>○毎日の家庭学習2時間以上の達成率70%以上</li> </ul>
徳育	<p><b>(豊かな心)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○道徳性・感性・社会性の育成</li> <li>○教育相談の充実</li> <li>○道徳教育(道徳の授業)の充実                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・体験の言語化</li> <li>・体験の経験化</li> </ul> </li> <li>○生徒指導の充実</li> <li>○キャリア教育の充実</li> <li>○表現教育の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎積極的な生徒指導の推進</li> <li>◎生活四訓(挨拶・時間厳守・整理整頓・立腰)の徹底</li> <li>◎学習規律(授業規律)の徹底</li> <li>○総合単元的な道徳学習の充実                             <ul style="list-style-type: none"> <li>礼儀・感謝・思いやりの心・友情・人格の尊重・広い心・生命の尊重・集団生活の向上・郷土愛・伝統文化の継承</li> </ul> </li> <li>○表現力(音声表現・文字言語表現・身体表現)の育成</li> <li>○相互作用(対話)の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「先生は生徒の話をよく聞いてくれる」の生徒評価70%以上</li> <li>○「先生は生徒に熱心に指導してくれる」の生徒評価70%以上</li> <li>○「二中は生活四訓(挨拶・時間厳守・整理整頓・掃除・靴揃えを含む)・立腰)を徹底している」の生徒評価70%以上</li> <li>○道徳の授業への生徒満足度70%以上</li> <li>○「道徳」を要として、各教科、総合的な学習の時間、特別活動との有機的な関連を図った、総合単元的な道徳学習の生徒満足度60%以上</li> </ul>
体育	<p><b>(たくましい体力と健康)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○意欲・気力・体力の鍛錬</li> <li>○耐性の育成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○部活動の充実—絆・礼儀・耐性</li> <li>○食教育の推進                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・朝ごはんを食べる</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○部活動への積極的参加に係る生徒評価(満足度)80%以上</li> <li>○部活動指導に係る教師への生徒評価(満足度)70%以上</li> <li>○「毎日朝ごはんを食べる」の生徒・保護者評価—90%以上</li> <li>○新体力テスト結果の全国平均比各2ポイントアップ</li> </ul>
情報発信	<p><b>(地域に信頼される学校づくり—広報活動の充実)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○家庭・地域との連携</li> <li>○学校からの積極的な発信</li> <li>○説明責任の貫徹</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○小中高大連携の推進</li> <li>○授業公開</li> <li>○研究公開</li> <li>○外部人材の活用</li> <li>○学校関係者評価の充実</li> <li>◎各種日より及びホームページの充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○小中高大との授業等交流年間5回の100%実施</li> <li>○授業公開年間5回以上の100%実施</li> <li>○道徳、総合的な学習の時間、特別活動等での外部人材の活用30人以上</li> <li>○学校だよりの発刊回数15以上、ホームページの更新回数50以上の100%実施</li> </ul>

## V 学校評価

### 1 学校評価システム

- (1) 自己評価(生徒・保護者対象のアンケート結果を分析・考察)→学校関係者評価(外部評価)
- (2) 学校関係者評価委員会の構成メンバー(◎は学校評議員を兼務)
  - ◎元中学校長 ◎会社経営者 ◎元幼稚園園長 ◎寺住職 ○PTA会長 ○大学教授

### 2 自己評価及び学校関係者評価の実施計画(P→D→C→A サイクル)

P→D→C[アンケート調査・分析・考察(自己評価)→学校関係者評価委員会(外部評価)]→A[改善, 公開(HP 等)]